

中高生 人間力磨き誓う

東松島「耕人塾」11期目始まる



自己紹介しながらカードを交換する塾生たち

中高生を対象に、地域社会に貢献する人材を育てる本年度の「耕人塾」が21日、始まった。11期目となる開塾式が東松島市矢本東市民センターであり、塾生たちが活動を通じて人間力を磨く決意を誓った。

石巻地方を中心とした中学生14人と高校生6人が参加。本年度は「世界に誇れる石巻地域にしよう」発信「未来へ」をテーマに12月17日まで計13回活動する。

木村民男塾長（元石巻専修大学人間学部教授）は「耕人塾で人間力を養い、自分の一生の根っこを作ってほしい。コンセプトの主体、楽しさ、創造を大事にして

皆さんと活動していきたい」とあいさつした。

これまでの活動が紹介された後、交流活動として、各自が好きなものなどを題材にした短歌を「五・七・五・七・七」に分けてカードに書き、他の人と1枚ずつ交換するゲームを実施。相手を変えて自己紹介しながらカードを交換し、手元に残ったカードで新たな短歌を作った。

塾生OB会のメンバーで指導役の教学委員を務める2人によるトークセッション「塾生へのエール」もあった。その後、塾生たちは耕人塾での目標を立て、グループごとに共有した。

初めて参加した東松島市矢本二中2年高橋光太朗さん（14）は「いろいろな人の話を聞いて将来に生かせると思う、参加した。東松島や石巻のいい所を見つけ、地域の人と交流して成長し

ていきたい」と話した。

7月2日には10周年記念式典を予定していたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し9月3日に延期した。